

債券市場第5回参加企業属性調査

調査報告書

東京都産業労働局

2004年7月

目 次

．調査の概要	
．調査対象の属性分析	
概略	
1．売上高別分布状況	
2．資本金別分布状況	
3．従業員数別分布状況	
4．設立年別分布状況	
5．業種別分布状況	
6．帝国データバンク評点別分布状況	
7．代表者年齢別分布状況	

. 調査の概要

【調査目的】 債券市場第5回参加企業の属性を調査・分析し、今年度第6回の債券発行に向けての基礎データとする。

【調査対象】 1,474社

第5回債券市場（CLO/CBO）参加企業1,542社について、帝国データバンク保有のデータベースに収録のあった企業1,474社を抽出。

（内訳）

A方式（純民間型CLO参加企業）： 318社（Aグループ）

B方式（保証付CLO参加企業）： 1,047社（Bグループ）

C方式（CBO参加企業）： 109社（Cグループ）

【抽出DB】 株式会社帝国データバンク 企業概要データベース「COSMOS2企業概要ファイル」

【調査期間】 2004年6月3日～2004年6月30日

債券市場参加企業の属性分析

【概 略】

今回（第5回）の債券市場参加企業については、売上高「10億円未満」の構成比が最も高いが、前回（第4回）と比較すると売上高「20億円～50億円未満」の構成比が低くなっている。それに関わらず、平均売上高は26億8,400万円と、前回平均の25億5,800万円をわずかに上回っており、実際の売上高のばらつきが大きくなっているといえる。（例えば、『極端に売上高が多い企業の存在』や、『同じ売上高ランクの中でも上限値に近い企業の数が多くなっている』ということが考えられる。）

資本金についても同様で、「1,000万円～3,000万円未満」の構成比が高まっている一方で、「3,000万円～1億円未満」の構成比が減少しているのだが、平均資本金は9,942万円と、前回平均の5,638万円と比べて2倍近くに達している。

従業員数については、「5人未満」、「6～10人未満」、「11～30人未満」の構成比がともに増加しているものの、平均従業員数は前回同様の62人となっている。

評点についても、低評点の構成比が増加し、高評点の構成比が減少しているが、評点平均は前回同様の54点となっている。

このように、今回の債券市場参加企業については、小規模な企業や信用度の低い企業の構成比が増えた一方で、企業間格差も拡大したという事実が推定できる。

実施方式の違いにより、参加企業全体をA、B、Cの3グループに分けた分析も併せて行なった。Aグループは純民間型CLO参加企業、Bグループは保証付CLO参加企業である。なお、CグループはCBO参加企業である。グループ間の格差としては、企業規模、評点ともに、Aグループのレベルが最も高く、参加企業数が一番多いBグループが最も低いレベルとなっている。また、参加企業数が最も少ないCグループは、企業規模、評点ともにAグループとBグループの中間に位置している。

1. 売上高別分布状況

(1) 今回（第5回）の分布状況

売上高規模の構成比については、「10億円未満」が41.0%と最も高く、次いで「10億円～20億円未満」が28.1%、「20億円～50億円未満」が20.2%、「50億円以上」が10.7%と続いている。

(2) 今回（第5回）のグループ間比較

各グループの平均売上高をみると、Cグループが30億5,700万円で、参加企業全体の26億8,400万円と同程度の値であるのに対し、AグループとBグループは、それぞれ59億8,800万円、16億4,200万円と参加企業全体に比べてかなり差がある。特にAグループは参加企業全体の2倍もの数値を示している。また、Bグループは「10億円未満」の企業が50%を占めており、同グループの平均売上高に影響していることが読み取れる。

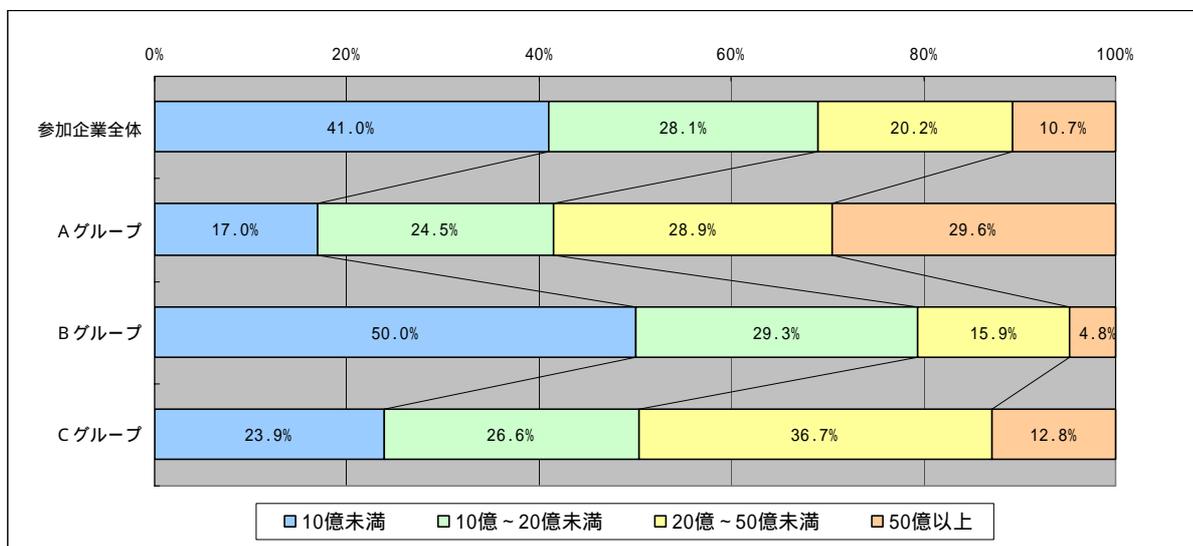
(3) 第1回～第5回までの推移

第1回～3回まで構成比が増加傾向にあった売上高「10億円未満」の企業が、第4回で減少の動きを見せたが、今回再び増加に転じ、構成比が40%台となっている。また、今回の売上高規模別構成比のバランスは、第3回のそれとほぼ同じになっている。

(4) 東京都全体との比較

東京都全体では売上高「10億円未満」が83.9%を占めており、売上高規模の小さい企業が圧倒的に多い。一方、今回の参加企業をみると、売上高「10億円未満」の割合は41.0%となっている。また、売上高「50億円以上」が東京都全体では5.0%にとどまっているのに対し、債券市場参加企業については10.7%となっている。

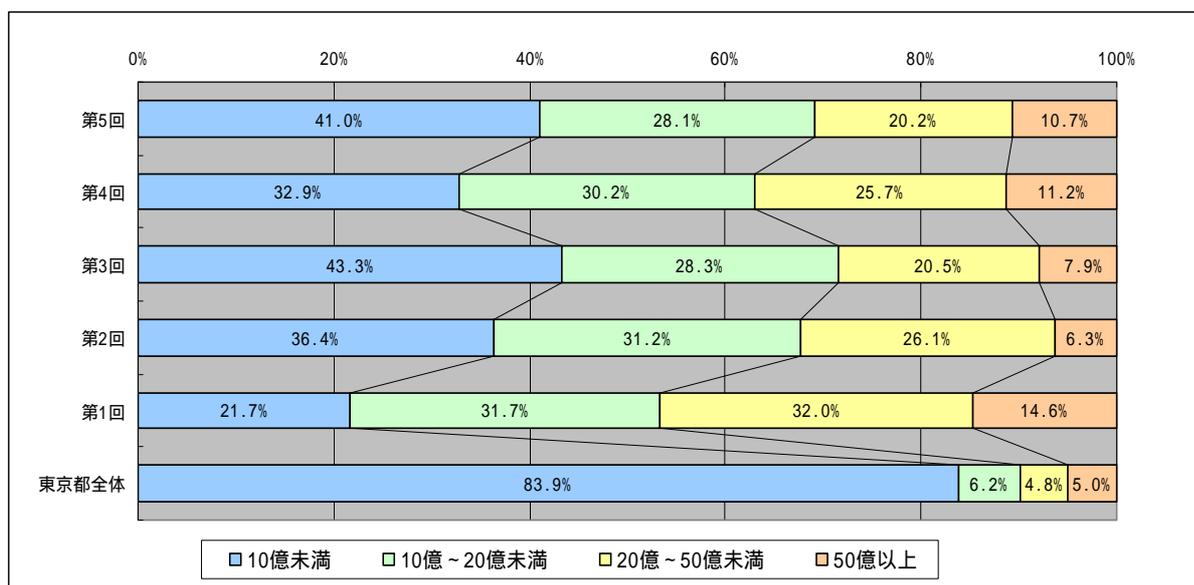
[グラフ 1-1] 売上高別分布状況(第5回のみ)



[表 1-1] 売上高別分布状況(第5回のみ)

売上高ランク					(社)	(円)
	10億未満	10億～20億未満	20億～50億未満	50億以上	合計社数	平均売上高
参加企業全体	604	414	298	158	1,474	26億84百万
比率	41.0%	28.1%	20.2%	10.7%	100.0%	
Aグループ	54	78	92	94	318	59億88百万
比率	17.0%	24.5%	28.9%	29.6%	100.0%	
Bグループ	524	307	166	50	1,047	16億42百万
比率	50.0%	29.3%	15.9%	4.8%	100.0%	
Cグループ	26	29	40	14	109	30億57百万
比率	23.9%	26.6%	36.7%	12.8%	100.0%	

[グラフ 1-2] 売上高別分布状況(第1回～第5回の推移)



[表 1-2] 売上高別分布状況(第1回～第5回の推移)

売上高ランク	(社)				(円)	
	10億未満	10億～20億未満	20億～50億未満	50億以上	合計社数	平均売上高
参加企業(第5回)	604	414	298	158	1,474	26億84百万
比率	41.0%	28.1%	20.2%	10.7%	100.0%	
参加企業(第4回)	640	588	501	219	1,948	25億58百万
比率	32.9%	30.2%	25.7%	11.2%	100%	
参加企業(第3回)	1,007	657	476	184	2,324	19億81百万
比率	43.3%	28.3%	20.5%	7.9%	100.0%	
参加企業(第2回)	244	209	175	42	670	20億57百万
比率	36.4%	31.2%	26.1%	6.3%	100.0%	
参加企業(第1回)	342	500	505	231	1,578	30億31百万
比率	21.7%	31.7%	32.0%	14.6%	100.0%	
東京都全体	150,825	11,230	8,647	9,078	179,780	65億83百万
比率	83.9%	6.2%	4.8%	5.0%	100.0%	

2. 資本金別分布状況

(1) 今回（第5回）の分布状況

資本金規模の構成比については、「1,000万円～3,000万円未満」が50.7%と最も高く、次いで「3,000万円～1億円未満」が38.3%、「1億円以上」が9.5%、「300万円～1,000万円未満」が1.5%と続いている。

(2) 今回（第5回）のグループ間比較

各グループの平均資本金をみると、Aグループが3億円を超えており、参加企業全体の平均資本金を押し上げる形となった。逆にBグループは3,688万円と、Aグループの10分の1程度となっており、資本金規模が相対的に小さい企業が多いことが読み取れる。実際、Bグループは資本金「1,000万円～3,000万円未満」が57.5%と、3つのグループの中で最も高い数値を示した。一方、Cグループについては、「3,000万円～1億円未満」の構成比が57.8%と最大になっており、中堅規模の企業が多いことが読み取れる。

(3) 第1回～第5回の推移

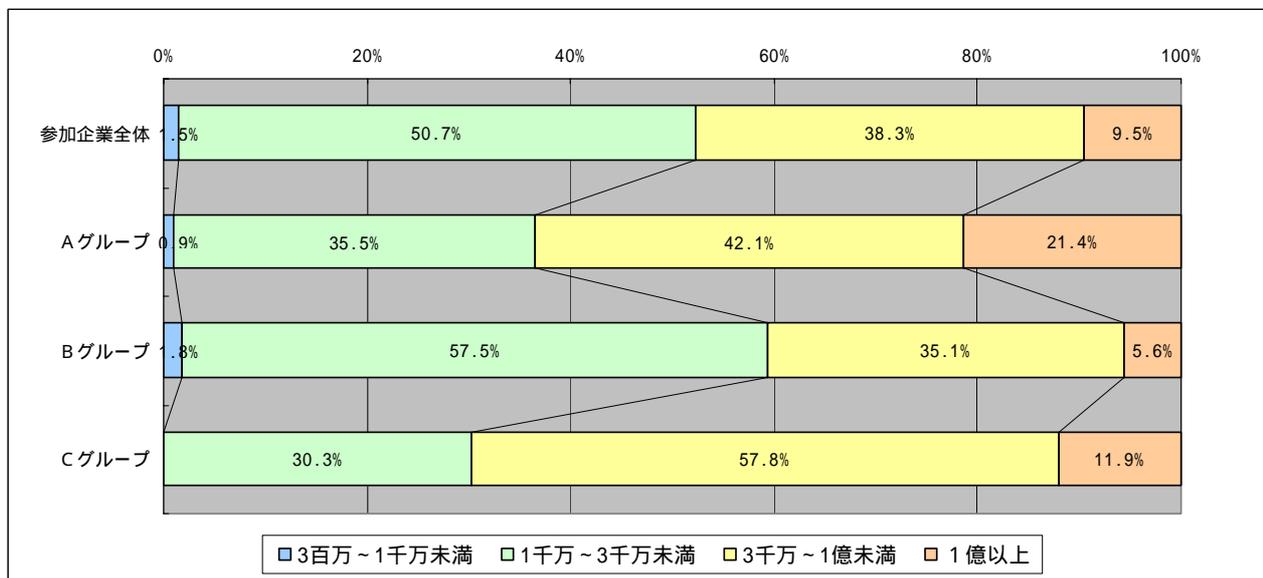
売上高と同様、第1回～3回まで増加傾向にあった資本金「1,000万円～3,000万円未満」の企業が、第4回で減少の動きを見せるも、今回再び増加に転じ、構成比が過半数を超えた。また、今回の資本金規模別の構成パターンは、第2回のそれとほぼ同じになっている。

(4) 東京都全体との比較

東京都全体では資本金「1,000万円～3,000万円未満」が59.1%と最も多く、次いで「300万円～1,000万円未満」が19.1%となっており、資本金規模の小さい企業の割合が多くなっている。これに対して債券市場参加企業は、資本金「1,000万円～3,000万円未満」の構成比が最も高い点は同じだが、次に多いのが「3,000万円～1億円未満」であるという点で異なる。

なお、東京都全体について見ると、資本金「300万円未満」の企業が若干（0.4%）あるが、これは、すでに施行されている最低資本金規制特例制度を利用して設立された企業の存在を示している。

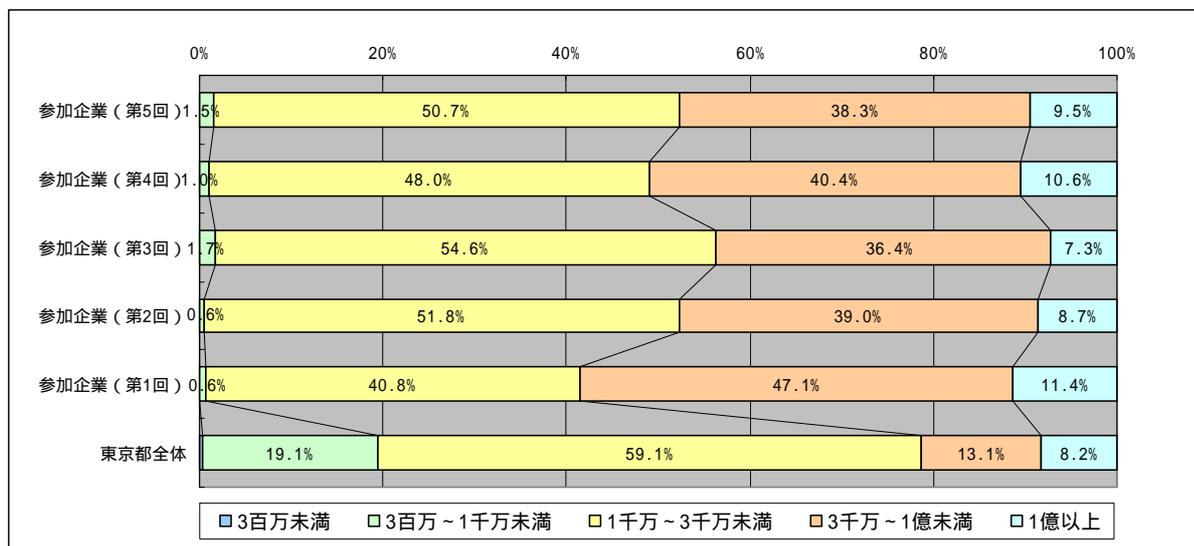
[グラフ 2-1] 資本金別分布状況(第5回のみ)



[表 2-1] 資本金別分布状況(第5回のみ)

資本金ランク	(社)				(円)	
	300万~1千万未満	1千万~3千万未満	3千万~1億未満	1億以上	合計社数	平均資本金
参加企業全体	22	748	564	140	1,474	9,942万
比率	1.5%	50.7%	38.3%	9.5%	100.0%	
Aグループ	3	113	134	68	318	3億1,414万5千
比率	0.9%	35.5%	42.1%	21.4%	100.0%	
Bグループ	19	602	367	59	1,047	3,688万5千
比率	1.8%	57.5%	35.1%	5.6%	100.0%	
Cグループ	0	33	63	13	109	7,366万2千
比率	0.0%	30.3%	57.8%	11.9%	100.0%	

[グラフ 2-2] 資本金別分布状況(第1回～第5回の推移)



[表 2-2] 資本金別分布状況(第1回～第5回の推移)

資本金ランク						(社)	(円)
	3百万未満	3百万～1千万未満	1千万～3千万未満	3千万～1億未満	1億以上	合計社数	平均資本金
参加企業(第5回)	0	22	748	564	140	1,474	9,942万
比率	0.0%	1.5%	50.7%	38.3%	9.5%	100.0%	
参加企業(第4回)	0	19	936	787	206	1,948	5,638万1千
比率	0.0%	1.0%	48.0%	40.4%	10.6%	100.0%	
参加企業(第3回)	0	39	1,270	845	170	2,324	4,398万6千
比率	0.0%	1.7%	54.6%	36.4%	7.3%	100.0%	
参加企業(第2回)	0	4	347	261	58	670	5,263万2千
比率	0.0%	0.6%	51.8%	39.0%	8.7%	100.0%	
参加企業(第1回)	0	10	644	744	180	1,578	5,267万7千
比率	0.0%	0.6%	40.8%	47.1%	11.4%	100.0%	
東京都全体	653	34,348	106,335	23,614	14,830	179,780	5億2,911万5千
比率	0.4%	19.1%	59.1%	13.1%	8.2%	100.0%	

3. 従業員数別分布状況

(1) 今回（第5回）の分布状況

従業員数「11人～30人以下」の構成比が35.8%と最も高く、次いで「31人～50人以下」が18.5%、「51人～100人以下」が17.1%、「101人以上」が11.7%、「6人～10人以下」が10.5%、「5人以下」が6.4%となっている。

(2) 今回（第5回）のグループ間の比較

Aグループは従業員数「101人以上」の構成比が3グループ中最も高く、その構成比は30.2%となっている。Bグループは「11人～30人以下」の構成比が3グループ中最も高くなっており、これに「5人以下」と「6人～10人以下」を合わせると、その構成比は約6割を占める。また、Cグループは「5人以下」の企業が1社もなく、それを除いた従業員数規模別構成比はおおむね均等に配分されており、特に「31～50人以下」、「51～100人以下」、「101人以上」の構成比がまったく同じ（20.2%）になっている。

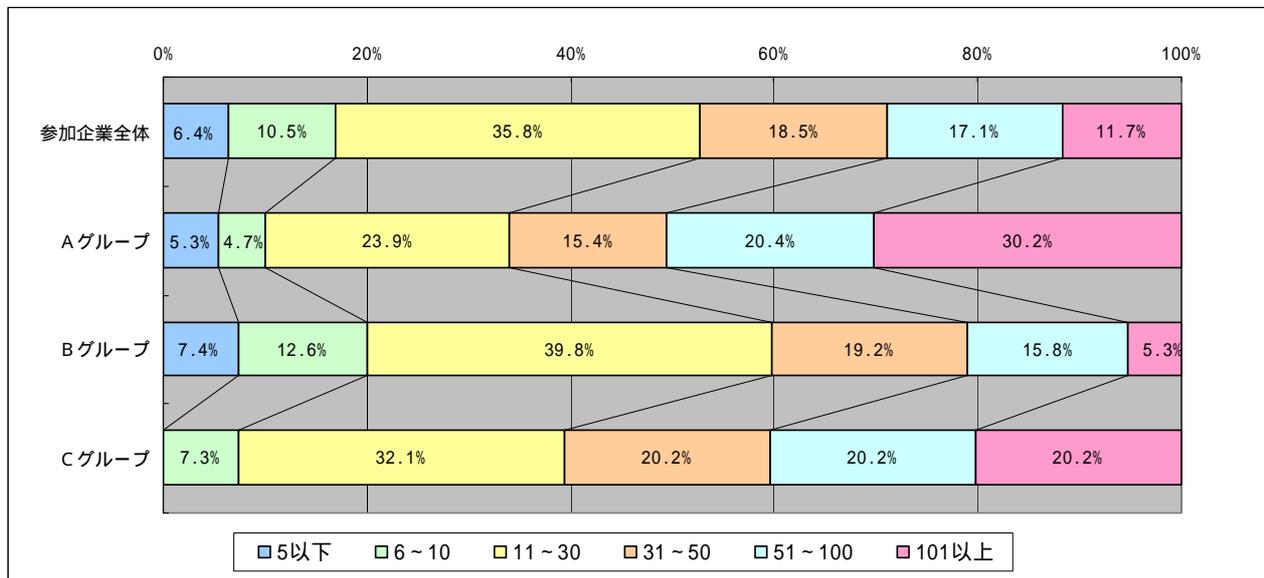
(3) 第1回～第5回の推移

第1回～第3回まで増加傾向にあった従業員数「30人以下」の企業が、第4回では若干減少したものの、今回は再び増加に転じた。「30人以下」の企業の構成比はこれまでで最大の52.7%となっている。

(4) 東京都全体との比較

東京都全体では従業員数「5人以下」が50.4%と圧倒的に多く、「30人以下」のレンジでは85.3%を占める。一方、債券市場参加企業については、従業員数「30人以下」の構成比は前述のとおりであり、東京都全体の企業分布と比較すると従業員数規模が小さい企業の構成比が低いことが読み取れる。

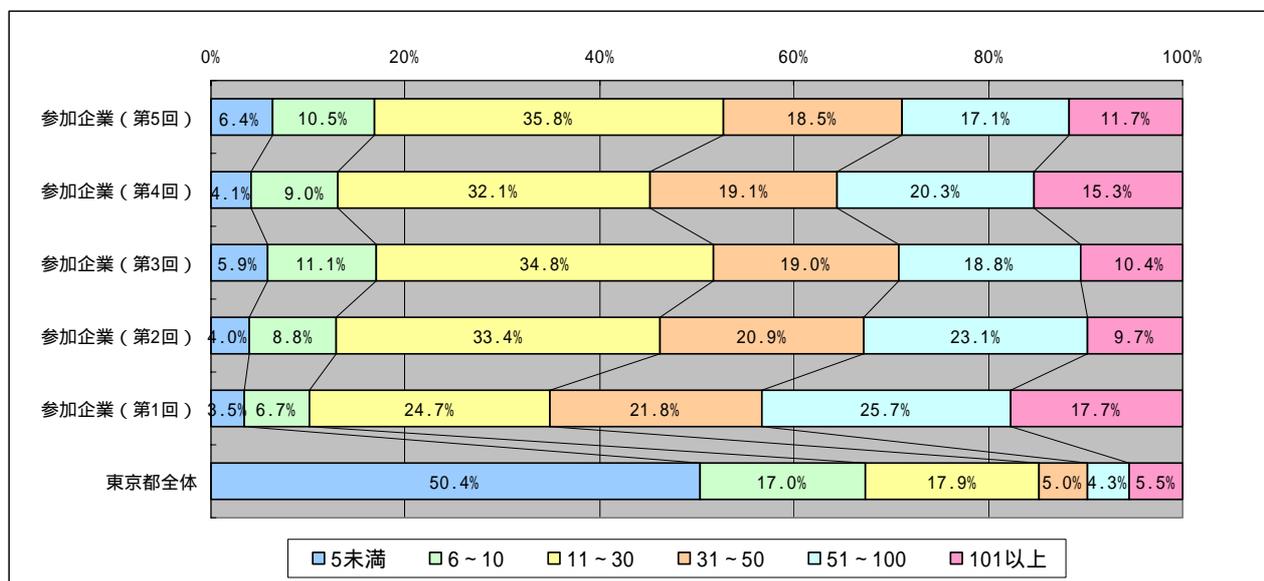
[グラフ 3-1] 従業員数別分布状況 (第5回のみ)



[表 3-1] 従業員数別分布状況 (第5回のみ)

従業員数ランク	(社)						(人)	
	5以下	6~10	11~30	31~50	51~100	101以上	合計社数	平均従業員数
参加企業全体	94	155	528	272	252	173	1,474	62
比率	6.4%	10.5%	35.8%	18.5%	17.1%	11.7%	100.0%	
Aグループ	17	15	76	49	65	96	318	142
比率	5.3%	4.7%	23.9%	15.4%	20.4%	30.2%	100.0%	
Bグループ	77	132	417	201	165	55	1,047	38
比率	7.4%	12.6%	39.8%	19.2%	15.8%	5.3%	100.0%	
Cグループ	0	8	35	22	22	22	109	64
比率	0.0%	7.3%	32.1%	20.2%	20.2%	20.2%	100.0%	

[グラフ 3-2] 従業員数別分布状況(第1回～第5回の推移)



[表 3-2] 従業員数別分布状況(第1回～第5回の推移)

従業員数ランク	(社)						合計社数	平均従業員数(人)
	5未満	6～10	11～30	31～50	51～100	101以上		
参加企業(第5回)	94	155	528	272	252	173	1,474	62
比率	6.4%	10.5%	35.8%	18.5%	17.1%	11.7%	100.0%	
参加企業(第4回)	79	176	626	373	395	299	1,948	62
比率	4.1%	9.0%	32.1%	19.1%	20.3%	15.3%	100.0%	
参加企業(第3回)	136	259	808	441	437	243	2,324	50
比率	5.9%	11.1%	34.8%	19.0%	18.8%	10.4%	100.0%	
参加企業(第2回)	27	59	224	140	155	65	670	50
比率	4.0%	8.8%	33.4%	20.9%	23.1%	9.7%	100.0	
参加企業(第1回)	55	106	389	344	684	279	1,578	69
比率	3.5%	6.7%	24.7%	21.8%	25.7%	17.7%	100.0	
東京都全体	90,585	30,533	32,228	8,912	7,692	9,830	179,780	46
比率	50.4%	17.0%	17.9%	5.0%	4.3%	5.5%	100.0%	

4. 設立年別分布状況

(1) 今回（第5回）の分布状況

「1980～1989年」の構成比が25.2%と最も高く、次いで「1970～1979年」が22.5%、「1990～1999年」が20.6%、「1960～1969年」が14.2%、「1950～1959年」が10.9%、「1949年以前」が5.4%、「2000年以降」が1.2%となっている。

(2) 今回（第5回）のグループ間の比較

Aグループは、3グループの中では老舗企業の構成比が相対的に高く、設立が「1949年以前」の企業が15.4%を占めている。Bグループは、他のグループと比較して、設立が「1959年以前」の企業の構成比が低く（10.7%）、「1990年以降」の設立が多い（24.7%）ことから、設立してから比較的新しい企業が多いということが分かる。また、Cグループは「1990～1999年」の設立を除けば、参加企業全体の構成パターンに非常によく似ている。

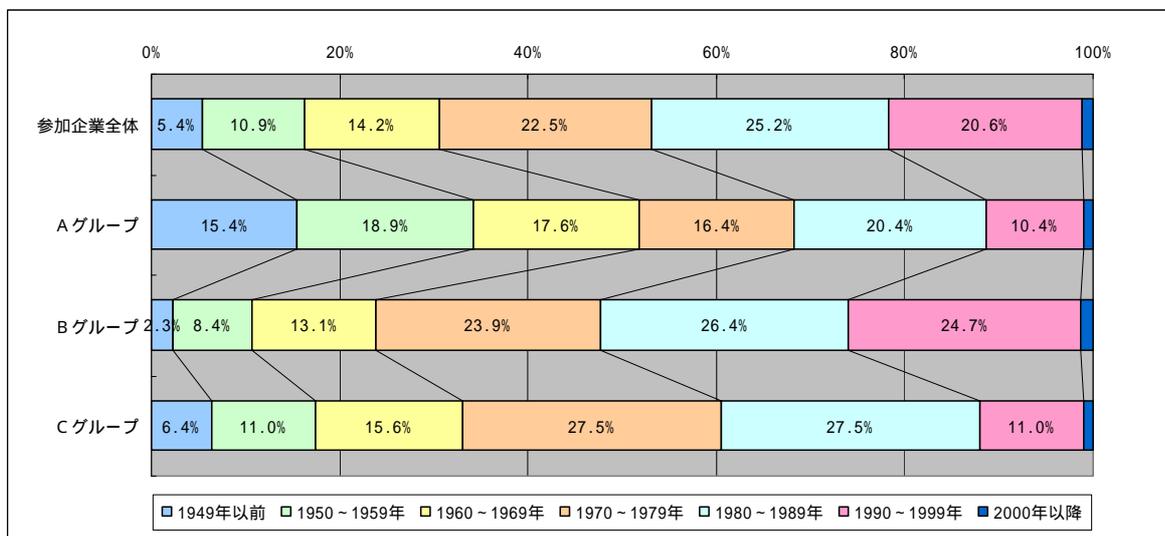
(3) 第1回～第5回の推移

第1回から第3回まで増加傾向にあった設立「1990～1999年」の企業の構成比は、第4回で減少したものの、今回は再び増加に転じ、20%台を超える形となった。

(4) 東京都全体との比較

ほぼ同じような構成比であり、特に違いはみられない。

[グラフ 4-1] 設立年別分布状況(第5回のみ)

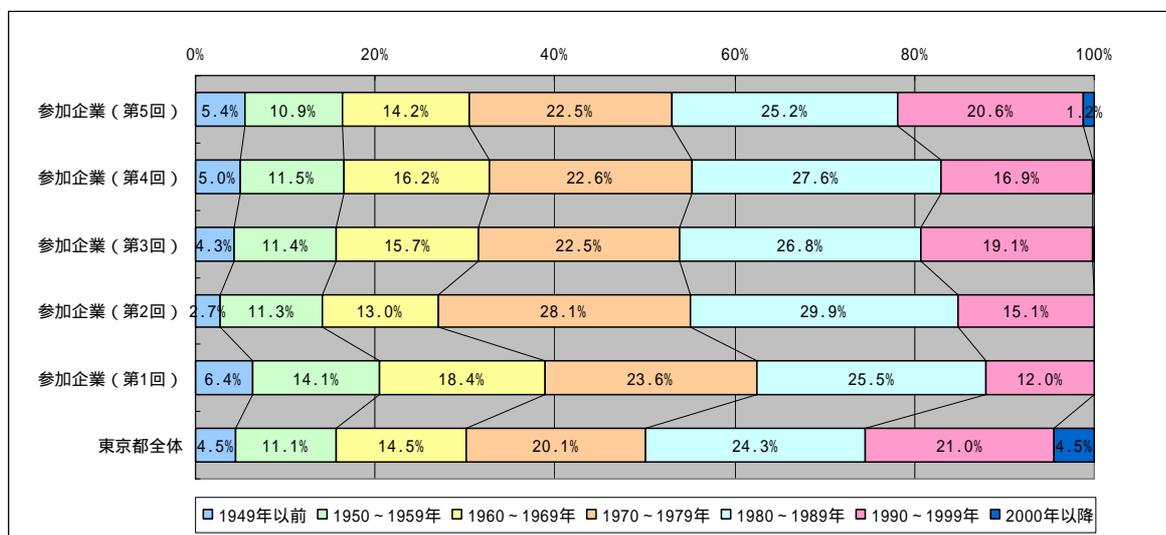


[表 4-1] 設立年別分布状況(第5回のみ)

(社)

設立年	1949年以前	1950~1959年	1960~1969年	1970~1979年	1980~1989年	1990~1999年	2000年以降	合計社数
参加企業全体	80	160	210	332	371	304	17	1,474
比率	5.4%	10.9%	14.2%	22.5%	25.2%	20.6%	1.2%	100.0%
Aグループ	49	60	56	52	65	33	3	318
比率	15.4%	18.9%	17.6%	16.4%	20.4%	10.4%	0.9%	100.0%
Bグループ	24	88	137	250	276	259	13	1,047
比率	2.3%	8.4%	13.1%	23.9%	26.4%	24.7%	1.2%	100.0%
Cグループ	7	12	17	30	30	12	1	109
比率	6.4%	11.0%	15.6%	27.5%	27.5%	11.0%	0.9%	100.0%

[グラフ 4-2] 設立年別分布状況(第1回から第5回の推移)



[表 4-2] 設立年別分布状況(第1回から第5回の推移)

設立年	1949年以前	1950～1959年	1960～1969年	1970～1979年	1980～1989年	1990～1999年	2000年以降	未詳	合計社数
参加企業(第5回)	80	160	210	332	371	304	17	0	1,474
比率	5.4%	10.9%	14.2%	22.5%	25.2%	20.6%	1.2%	0.0%	100.0%
参加企業(第4回)	97	224	316	440	538	329	4	0	1,948
比率	5.0%	11.5%	16.2%	22.6%	27.6%	16.9%	0.2%	0.0%	100.0%
参加企業(第3回)	100	265	365	523	622	444	5	0	2,324
比率	4.3%	11.4%	15.7%	22.5%	26.8%	19.1%	0.2%	0.0%	100.0%
参加企業(第2回)	18	76	87	188	200	101	0	0	670
比率	2.7%	11.3%	13.0%	28.1%	29.9%	15.1%	0.0%	0.0%	100.0%
参加企業(第1回)	101	223	290	372	402	190	0	0	1,578
比率	6.4%	14.1%	18.4%	23.6%	25.5%	12.0%	0.0%	0.0%	100.0%
東京都全体	8,047	19,978	25,984	36,167	43,760	37,710	8,131	3	179,780
比率	4.5%	11.1%	14.5%	20.1%	24.3%	21.0%	4.5%	0.0%	100.0%

5. 業種別分布状況

(1) 今回（第5回）の分布状況

業種別の構成比については、「卸売業」が33.5%と最も高くなっており、次いで「サービス業」が25.0%、「製造業」が17.0%、「建設業」が7.9%、「不動産業」が6.8%、「小売業」が6.2%、「運輸・倉庫業」が3.7%となっている。なお、サービス業に位置づけられる、「飲食店」と「ソフトウェア業」については、全体に対して構成比がそれぞれ1.4%、6.2%となっている。

(2) 今回（第5回）のグループ間の比較

Aグループは3グループ中、「卸売業」の構成比が最も高く、「建設業」、「不動産業」の構成比の低さが目立つ。また、Bグループの構成パターンは参加企業全体のそれと類似している。Cグループは「サービス業」の構成比が最も高く、次いで「卸売業」となっており、他グループおよび参加企業全体における最頻2業種の順番が逆転している。

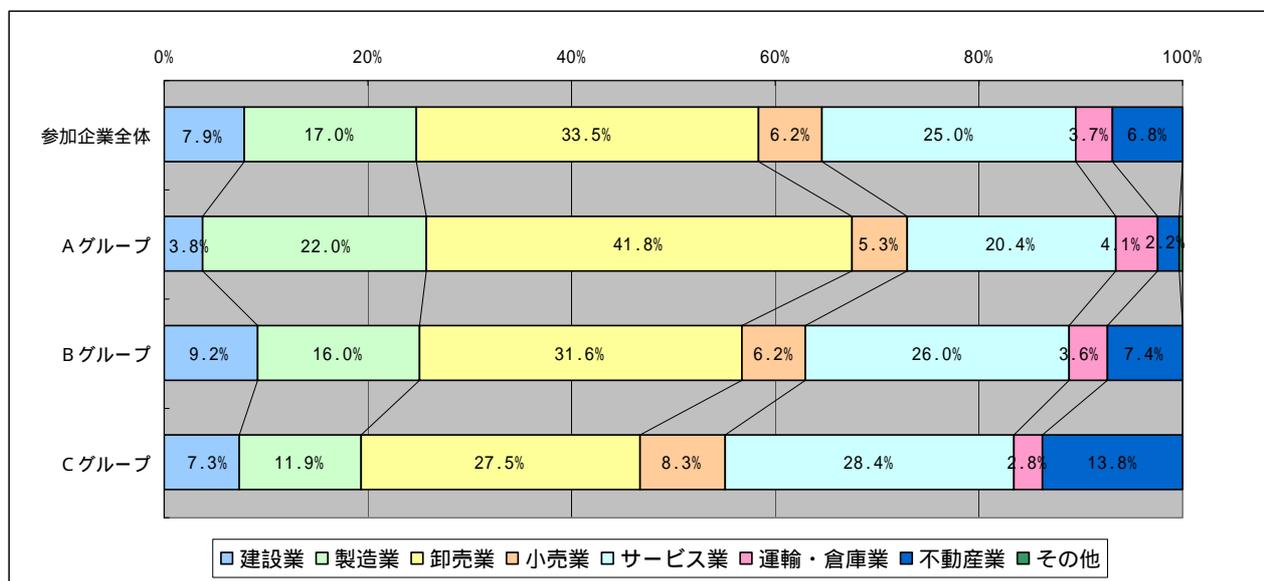
(3) 第1回～第5回の推移

ほぼ同傾向で推移している。

(4) 東京都全体との比較

債券市場参加企業の業種は東京都全体のものと比較すると、「製造業」、「卸売業」が多くなっている。その他の業種でも比較すると数値の大小はみられるが、顕著な違いがあるとはいえない。

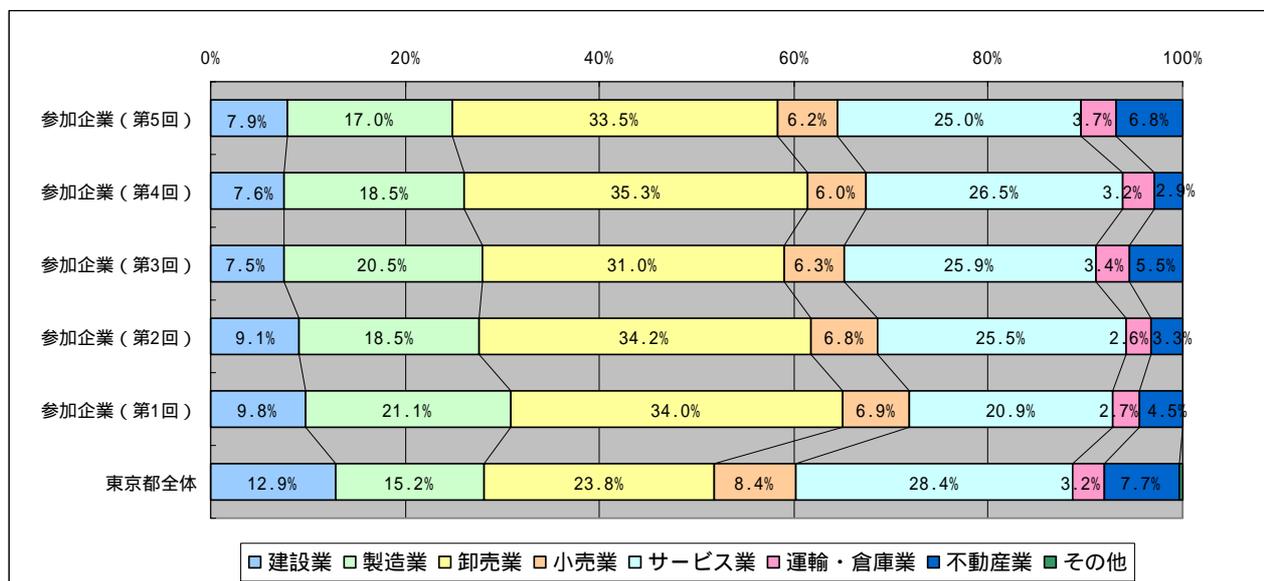
[グラフ 5-1] 業種別分布状況 (第5回のみ)



[表 5-1] 業種別分布状況 (第5回のみ)

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	サービス業		運輸・倉庫業	不動産業	その他	合計社数
						飲食店	ソフトウェア				
参加企業全体	116	250	494	91	368	21	92	54	100	1	1,474
比率	7.9%	17.0%	33.5%	6.2%	25.0%	1.4%	6.2%	3.7%	6.8%	0.1%	100.0%
Aグループ	12	70	133	17	65	1	13	13	7	1	318
比率	3.8%	22.0%	41.8%	5.3%	20.4%	0.3%	4.1%	4.1%	2.2%	0.3%	100.0%
Bグループ	96	167	331	65	272	18	72	38	78	0	1,047
比率	9.2%	16.0%	31.6%	6.2%	26.0%	1.7%	6.9%	3.6%	7.4%	0.0%	100.0%
Cグループ	8	13	30	9	31	2	7	3	15	0	109
比率	7.3%	11.9%	27.5%	8.3%	28.4%	1.8%	6.4%	2.8%	13.8%	0.0%	100.0%

[グラフ 5-2] 業種別分布状況(第1回～第5回の推移)



[表 5-2] 業種別分布状況(第1回～第5回の推移)

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	運輸・倉庫業	不動産業	その他	合計社数
参加企業(第5回)	116	250	494	91	368	54	100	1	1,474
比率	7.9%	17.0%	33.5%	6.2%	25.0%	3.7%	6.8%	0.1%	100.0%
参加企業(第4回)	148	360	688	117	516	63	56	0	1,948
比率	7.6%	18.5%	35.3%	6.0%	26.5%	3.2%	2.9%	0.0%	100.0%
参加企業(第3回)	167	455	689	140	575	75	123	0	2,224
比率	7.5%	20.5%	31.0%	6.3%	25.9%	3.4%	5.5%	0.0%	100.0%
参加企業(第2回)	60	122	226	45	168	17	22	0	660
比率	9.1%	18.5%	34.2%	6.8%	25.5%	2.6%	3.3%	0.0%	100.0%
参加企業(第1回)	155	333	537	109	330	43	71	0	1,578
比率	9.8%	21.1%	34.0%	6.9%	20.9%	2.7%	4.5%	0.0%	100.0%
東京都全体	23,154	27,410	42,708	15,064	51,096	5,807	13,794	747	179,780
比率	12.9%	15.2%	23.8%	8.4%	28.4%	3.2%	7.7%	0.4%	100.0%

6. 帝国データバンク評点()別分布状況

「帝国データバンク評点」は、帝国データバンクが企業に対して行なう企業信用調査の結果を表す総合的な評価点である。

評点は100点満点で、評点が高いほど信用度が高い。

(1) 今回（第5回）の分布状況

評点「50点～54点以下」が49.2%と最も多く、次いで「55点～59点以下」が28.5%、「45点～49点以下」が11.3%「60点～64点以下」が7.3%となっている。

(2) 今回（第5回）のグループ間の比較

債券市場参加企業全体で最も分布が集中する「50点～54点以下」は、Bグループ、Cグループにおいても最大の構成比（それぞれ56.4%、46.8%）となっているのに対し、Aグループでは26.1%と若干低くなっている（Aグループで最も構成比が高いのは「55点～59点以下」の40.9%）。また、Aグループでは、「60～64点以下」と「65～69点以下」の構成比が他のグループに比べて高い。このことから、Aグループは全体的に信用度の高い企業が多く集まっているということが分かる。

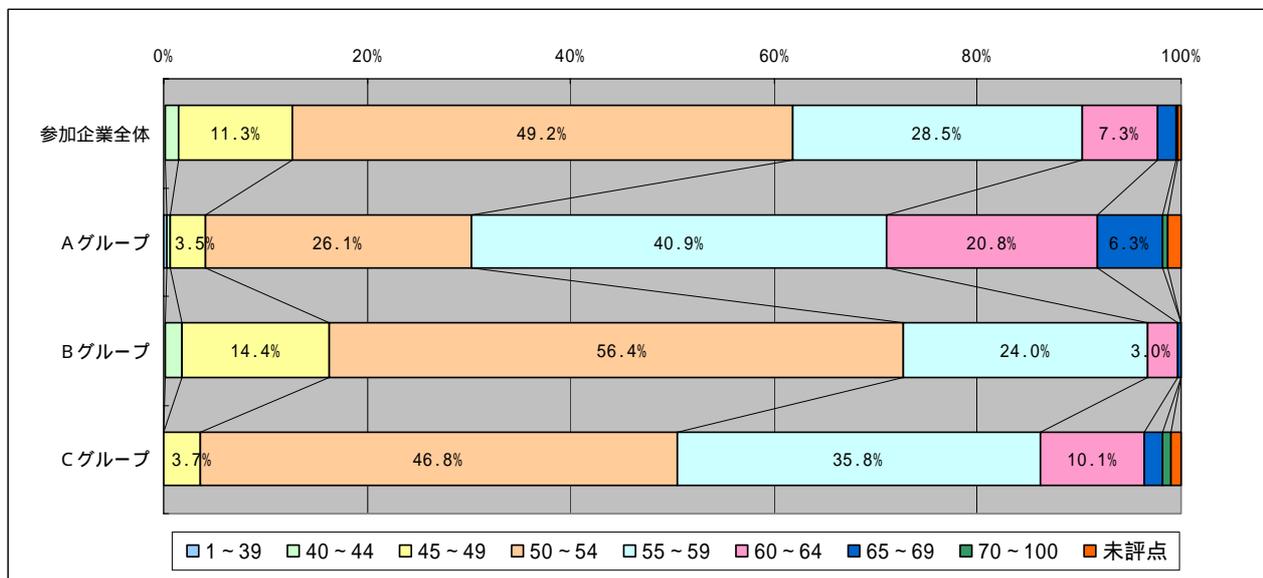
(3) 第1回～第5回の推移

最も分布が集中する「50点～54点以下」は、これまでほぼ右肩上がりが増加し続けており（第4回では若干減少）、今回は49.2%と半数近くにまで達している。

(4) 東京都全体との比較

東京都全体では、「45点～49点以下」の構成比が31.5%と最も高く、次いで「40点～44点以下」が22.3%となっている。また、東京都全体の評点平均値は45点となっているが、債券市場参加企業の平均値は第4回と同様、54点となっており、東京都全体と比較すると評点は高めである。

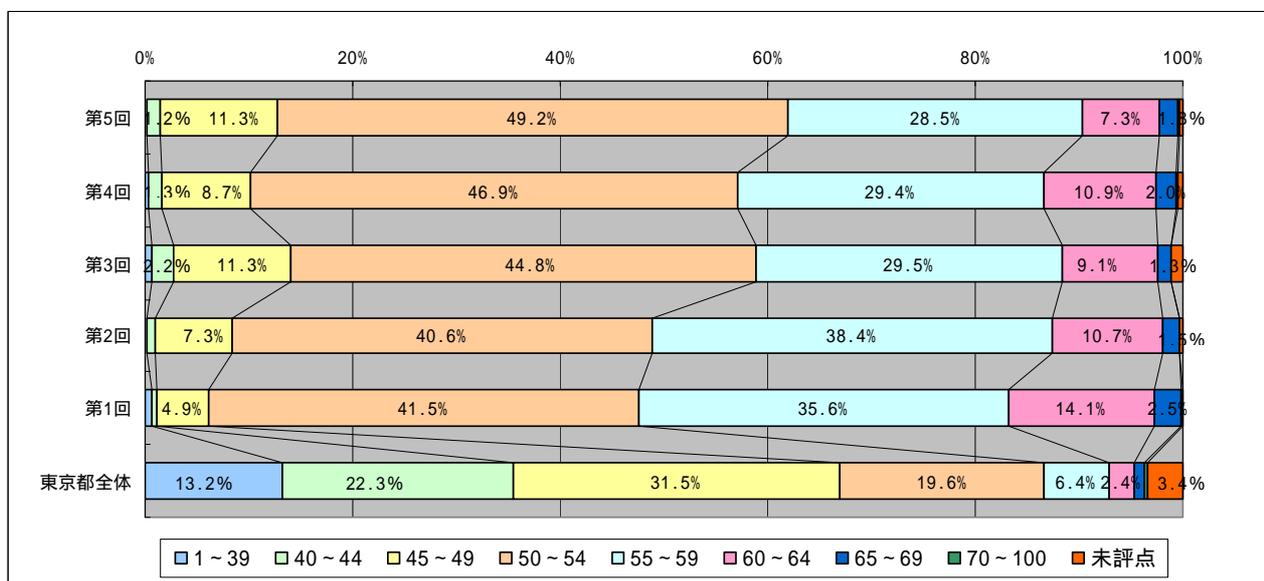
[グラフ 6-1] 評点別分布状況 (第5回のみ)



[表 6-1] 評点別分布状況 (第5回のみ)

評点ランク										(社) (点)	
	1~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~100	未評点	合計社数	評点平均
参加企業全体	3	18	166	725	420	108	26	3	5	1,474	54
比率	0.2%	1.2%	11.3%	49.2%	28.5%	7.3%	1.8%	0.2%	0.3%	100.0%	
Aグループ	1	1	11	83	130	66	20	2	4	318	57
比率	0.3%	0.3%	3.5%	26.1%	40.9%	20.8%	6.3%	0.6%	1.3%	100.0%	
Bグループ	2	17	151	591	251	31	4	0	0	1,047	52
比率	0.2%	1.6%	14.4%	56.4%	24.0%	3.0%	0.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
Cグループ	0	0	4	51	39	11	2	1	1	109	55
比率	0.0%	0.0%	3.7%	46.8%	35.8%	10.1%	1.8%	0.9%	0.9%	100.0%	

[グラフ 6-2] 評点別分布状況 (第 1 回 ~ 第 5 回の推移)



[表 6-2] 評点別分布状況 (第 1 回 ~ 第 5 回の推移)

評点ランク										(社)	(点)
	1~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~100	未評点	合計社数	評点平均
参加企業(第5回)	3	18	166	725	420	108	26	3	5	1,474	54
比率	0.2%	1.2%	11.3%	49.2%	28.5%	7.3%	1.8%	0.2%	0.3%	100.0%	
参加企業(第4回)	5	25	169	914	573	212	38	3	9	1,948	54
比率	0.3%	1.3%	8.7%	46.9%	29.4%	10.9%	2.0%	0.2%	0.5%	100.0%	
参加企業(第3回)	13	50	263	1,041	687	211	30	1	28	2,324	53
比率	0.6%	2.2%	11.3%	44.8%	29.5%	9.1%	1.3%	0.0%	1.2%	100.0%	
参加企業(第2回)	1	6	49	272	257	72	10	1	2	670	54
比率	0.1%	0.9%	7.3%	40.6%	38.4%	10.7%	1.5%	0.1%	0.3%	100.0%	
参加企業(第1回)	10	9	78	654	561	223	39	3	0	1,577	55
比率	0.6%	0.6%	4.9%	41.5%	35.6%	14.1%	2.5%	0.2%	0.0%	100.0%	
東京都全体	23,765	40,006	56,581	35,230	11,423	4,398	1,602	733	6,042	179,780	45
比率	13.2%	22.3%	31.5%	19.6%	6.4%	2.4%	0.9%	0.4%	3.4%	100.0%	

7. 代表者年齢別分布状況

(1) 今回（第5回）の分布状況

代表者年齢は「50歳～59歳」の構成比が36.2%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が31.2%、「40歳～49歳」が19.0%、「70歳～79歳」が7.0%、「39歳以下」が4.9%となっている。

(2) 今回（第5回）のグループ間の比較

Bグループは、3グループの中で唯一「49歳以下」の構成比が3割近くに達しているが、逆に「60～69歳以下」の構成比は唯一3割を切っている。このことから、Bグループは全体的に代表者の年齢が若い企業が集まっているといえる。それ以外の年代の構成比率は各グループともほぼ同様のパターンとなっており、目立った違いはみられない。

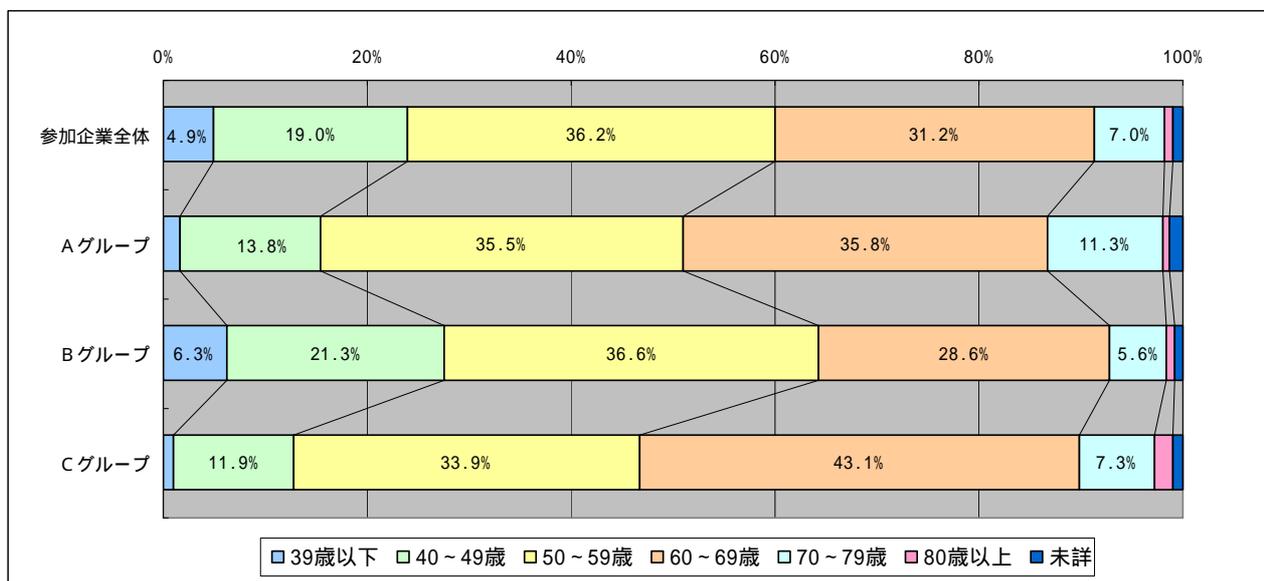
(3) 第1回～第5回の推移

これまで「40歳～49歳以下」の構成比が10%を超えることはなかったが、今回は19.0%と、一気に20%近い構成比に達している。また、「50歳～59歳以下」が増加している一方で、「60歳～69歳以下」が減少していることから、全体的に年齢が若い企業の比率が高くなっていることがうかがえる。

(4) 東京都全体との比較

東京都全体との比較では、「40歳～49歳以下」と「50歳～59歳以下」の構成比が5ポイント前後高くなっており、逆に「70歳～79歳以下」の構成比が5ポイント程度低くなっている。

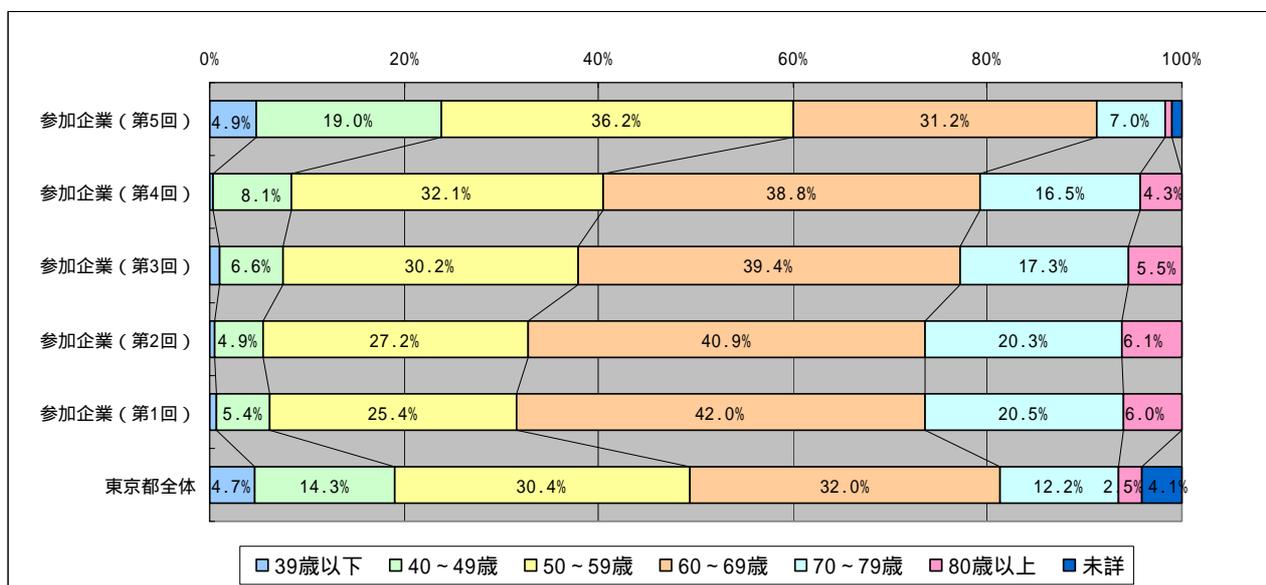
[グラフ 7-1] 代表者年齢別分布状況 (第5回のみ)



[表 7-1] 代表者年齢別分布状況 (第5回のみ)

代表者年齢	39歳以下	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	未詳	合計社数
参加企業全体	72	280	533	460	103	12	14	1,474
比率	4.9%	19.0%	36.2%	31.2%	7.0%	0.8%	0.9%	100.0%
Aグループ	5	44	113	114	36	2	4	318
比率	1.6%	13.8%	35.5%	35.8%	11.3%	0.6%	1.3%	100.0%
Bグループ	66	223	383	299	59	8	9	1,047
比率	6.3%	21.3%	36.6%	28.6%	5.6%	0.8%	0.9%	100.0%
Cグループ	1	13	37	47	8	2	1	109
比率	0.9%	11.9%	33.9%	43.1%	7.3%	1.8%	0.9%	100.0%

[グラフ 7-2] 代表者年齢別分布状況(第1回～第5回の推移)



[表 7-2] 代表者年齢別分布状況(第1回～第5回の推移)

代表者年齢	39歳以下	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	未詳	合計社数
参加企業(第5回)	72	280	533	460	103	12	14	1,474
比率	4.9%	19.0%	36.2%	31.2%	7.0%	0.8%	0.9%	99.1%
参加企業(第4回)	5	157	622	753	319	83	-	1,939
比率	0.3%	8.1%	32.1%	38.8%	16.5%	4.3%	-	100.0%
参加企業(第3回)	24	151	697	909	398	126	-	2,305
比率	1.0%	6.6%	30.2%	39.4%	17.3%	5.5%	-	100.0%
参加企業(第2回)	4	33	182	274	136	41	-	670
比率	0.6%	4.9%	27.2%	40.9%	20.3%	6.1%	-	100.0%
参加企業(第1回)	12	85	401	662	324	94	-	1,578
比率	0.8%	5.4%	25.4%	42.0%	20.5%	6.0%	-	100.0%
東京都全体	8,421	25,679	54,574	57,500	21,872	4,426	7,308	179,780
比率	4.7%	14.3%	30.4%	32.0%	12.2%	2.5%	4.1%	100.0%

第1回～4回までは代表者年齢「未詳」を集計対象外としていたが、第5回については、「未詳」も集計対象に含めた。